

令和4年度出雲市市民文化賞受賞者の決定について

出雲市では、市の文化活動及びスポーツ活動分野において、市民文化の向上に寄与する優れた功績を有し、顕著な活動を行っている個人又は団体を、毎年度「出雲市市民文化賞」として表彰しています。

令和4年度の受賞者が決定しましたので、下記のとおり報告します。

記

1. 受賞者

【文化活動】 直江一式飾り保存会（出雲市斐川町直江）
紙しばいプロジェクト（出雲市日下町）
※活動内容は、次頁のとおり。

【スポーツ活動】 該当なし

2. 表彰式

- (1) 日時 令和5年3月27日（月） 16:00～17:00
- (2) 場所 出雲市役所 市民応接室

3. その他

選考件数 7件（文化活動6件、スポーツ活動1件）

令和4年度 出雲市市民文化賞

分野	受賞者
	活動内容
文化活動分野	<small>なおえいっしきかざりほぞんかい</small> 直江一式飾り保存会
	<p>昭和60年頃より300年の歴史ある直江一式飾りを伝承し育成しようという機運があり、平成3年に10目町部12自治会の賛同者有志30名により発足しました（現在会員数21名）。直江一式飾りは出雲市無形民俗文化財第18号に指定されています。</p> <p>作品の製作だけでなく、小中学校や地域において一式飾りの製作指導や由来の講話や講演会を行うなど、直江一式飾りの地域への継承と保存にも積極的に取り組んでおられます。また、毎年「なおえ夏祭り」は保存会が中心の団体として活動しています。</p> <p>今後は、直江の伝統文化である一式飾りの技術向上を次世代の人たちに伝え将来に向かって存続できるように努められるとのこと。また、長い歴史文化を継承するためには自治会の理解と協力が不可欠であることから、会員だけではなく、各自治会の人たちにも一式飾りの持続を共有できるように努力されるとのこと。</p>
	紙しばいプロジェクト
	<p>高松地区の地元住民などの有志15名で構成されている団体で、飼い主とはぐれた後無事保護された三毛猫のフクを題材にした紙芝居「三毛猫フクの大冒険」を元に英語版「Long Journey of Fuku」を作成され、英語学習に役立ててもらおうと令和2年に市内全小・中学校に寄贈されました。以降も日本語版及び英語版の紙芝居の読み聞かせなどを幼稚園、小学校、児童クラブで実施されています。また、令和4年にはポルトガル語版の紙芝居及び読み聞かせ用CDを作成されました。</p> <p>今後も引き続き、主に学校において紙芝居の読み聞かせを核とした交流活動を続けるとともに、日本語指導を行っている小・中学校へ寄贈されたポルトガル語版紙芝居を、国際理解教育の推進に役立てるとのことです。</p>